



重い。もう少しだ、がんばれ

力の限界に挑む

力石総社

力石を使った力比べを行う力石総社が8月24日、総社宮で開かれました。

総社の夏の風物詩には、小さな子どもから大人まで約300人が参加。ルールは、10秒間持ち上げれば成功という簡単なもの。会場には2kgから180kgまでの力石が用意され、参加者は力の限界に挑んでいました。子どもたちも、家族の声援を受けながら、次々と重い石に挑戦していました。

優勝は、男性の部で、横綱力石(180kg)を約46秒持ち上げた杉本勝宏さん(奈良県橿原市)が昨年に続き連覇。女性の部は、光畑明美さん(長良)が優勝しました。



ギャラリートークで、雪舟大賞の審査講評を話す審査員の上村淳之さん。雪舟大賞受賞者の長原勲さん(写真右端)は「自分の気持ちが、画面にのっかるように描いた」と、自身の作品を紹介した

雪舟大賞に見入る

墨彩画公募展に入選作品展

第7回雪舟の里総社墨彩画公募展の入選作品展が9月6日から10日間、サンロード吉備路で開かれました。

会場には、雪舟大賞の「site.N」をはじめ、入選作品55点を展示。雪舟大賞の前では、多くの人が立ち止まり、感嘆の声をあげていました。訪れた人は、一点ずついいねいに見て回っていました。

ミニフォト

総社南校ダンス部、優勝しました



笑顔いっぱい
の優勝報告

ミスダンスドリルチーム・インターナショナル イン ジャパン(7月29日、東京で開催)で、総社南高校ダンス部は、ヒップホップ部門のスマイル編成で優勝。8月21日、同部員12人が市長を訪ね、優勝報告をしました。

「つかまえたぞー」



アユを追う子どもたち

8月17日開催の神が辻日曜ふれあい市では、子どもを対象にしたアユのつかみ取りコーナーが登場。長い列ができるほどの大人気でした。子どもたちは、水しぶきをあげながらアユを追いかけ、「つかまえた」と歓声を上げていました。

わが家の安全点検も大切



スライドを交えた
防災の講演

防災の日の9月1日、すまいの防災研修会が総合福祉センターで開かれ、主婦ら約110人が参加。災害時には高い状況判断力が必要なことや、家の安全点検のポイントなどの話に、参加者はメモをとりながら熱心に聞いていました。

観光ガイドを目指して



メモをとる受講生

全6回の吉備路ボランティアガイド養成講座が、8月23日スタート。この日はガイドのマナーや、案内の仕方などについて学びました。約30人が受講し、講座修了後には、ボランティア観光ガイドとして、吉備路を案内する予定です。

和食はバランスのよい食事だよ



ペープサートの劇による
食育

9月3日、中国学園大学現代生活学部の学生6人が山手小学校の5年生に、ペープサート(紙人形劇)で和食の良さを話しました。「和食はバランスのよい食事。すすんで食べましょう」。学生の話に、子どもたちは興味津々の様子でした。

竹の工作やキャンプを楽しむ



竹笛の作り方を
習う子どもたち

8月23日・24日の両日、岡山市内のキャンプ場で自然学校が開かれました。子ども28人が参加。食事用のはしを竹で作ったり、飯ごうでご飯を炊いたり、子どもたちは普段できない体験を大いに楽しんでいました。

Photo News



おめでとうございます

守安安子さん満100歳の祝い

守安安子さん(宿)が9月11日、満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。

守安さんは、家族や親戚からのお祝いの言葉に、「ありがとう」と笑顔で答えていました。長寿の秘訣については、よく働き、好き嫌いをせず何でも食べることで教えてくれました。



市長と談笑する
守安さん



幻想的な雰囲気なかでの演奏

多様な打楽器とオカリナの音を楽しむ

パーカッション・オカリーナアンサンブルコンサート

出井紗希子さん(泉)と、台湾やスペインの打楽器奏者ら女性5人によるパーカッション・オカリーナアンサンブルコンサートが、約200人の観衆を前に8月30日、宝福寺で開かれました。

マリンバや太鼓など多くの打楽器とオカリナによる、クラシックや歌謡曲、創作曲など10の楽曲を披露。訪れた人は、和の空間に広がる、和と西洋の融合した新鮮な音色を堪能していました。